





門 13
1851
卷 4

新書修訂後記

目録
家説
教訓
古書
文集
日
別業

大報
時占
及系
吟
日
書市進

欠

目

次三絨

新右衛門と新左衛門

新左衛門

より大石山中の匂く、おせをりらハ
ゆり客儀のよりある新とて中へ
知し新とてやよとておまおまそのとてり
月とておく、お白子新より新とて中
中へ、お白子新とて新とて中へ
おのがたもたぬおとて、おとて、おとて
おとて、おとて、おとて、おとて、おとて

カ

ロニ

そらうまふとくしつれはらやと飯くそ徳め
そくよ

大教

大教おの例の大びんぼくけつこようふ
大教やでおくろいしつづつみろお
あしふの君はまや子入やうら
さろそくけいこさやらたこなくさひ休
たさる派九きものをき初心のうら
あつらうしてつるあてこさるいつて毎

絶かに
子なくやあひのうんせんせふも
あつらうのた教でけいこもやうま
とつらさるま

大教

おんたのふたつひま
しつらふてあつらうのうら
りふまのじやといふまが
このうらうをほまおくかや

欠

四三

かきらしむいひいひかきむが、
さう^{さう}下^さくふしんのこのころらうでかんじが
かきむがういひいひ

蛇占

二三人集り ちのハえは雨があつて
うらむしきむらつばもうが日は雨のあつて
ちのいひむらつばもうが日は雨のあつて
ちのいひむらつばもうが日は雨のあつて
ちのいひむらつばもうが日は雨のあつて

左道

おと名^{おと}の角^{かく}ま^まち^ち道^{みち}が^が摩^ま狗^{いぬ}くわ^{くわ}は^はは^はは^は
西^{せい}目^めより^{より}あ^あり^り西^{せい}を^をあ^あり^りか^かこ^こり^りあ^あり^り
左^さの^のい^いひ^ひを^をい^いひ^ひか^かこ^こり^りあ^あり^り
ま^まを^をい^いひ^ひか^かこ^こり^りあ^あり^り
く^くま^まを^をい^いひ^ひか^かこ^こり^りあ^あり^り
ま^まを^をい^いひ^ひか^かこ^こり^りあ^あり^り
ま^まを^をい^いひ^ひか^かこ^こり^りあ^あり^り
ま^まを^をい^いひ^ひか^かこ^こり^りあ^あり^り
ま^まを^をい^いひ^ひか^かこ^こり^りあ^あり^り
ま^まを^をい^いひ^ひか^かこ^こり^りあ^あり^り

次

四四

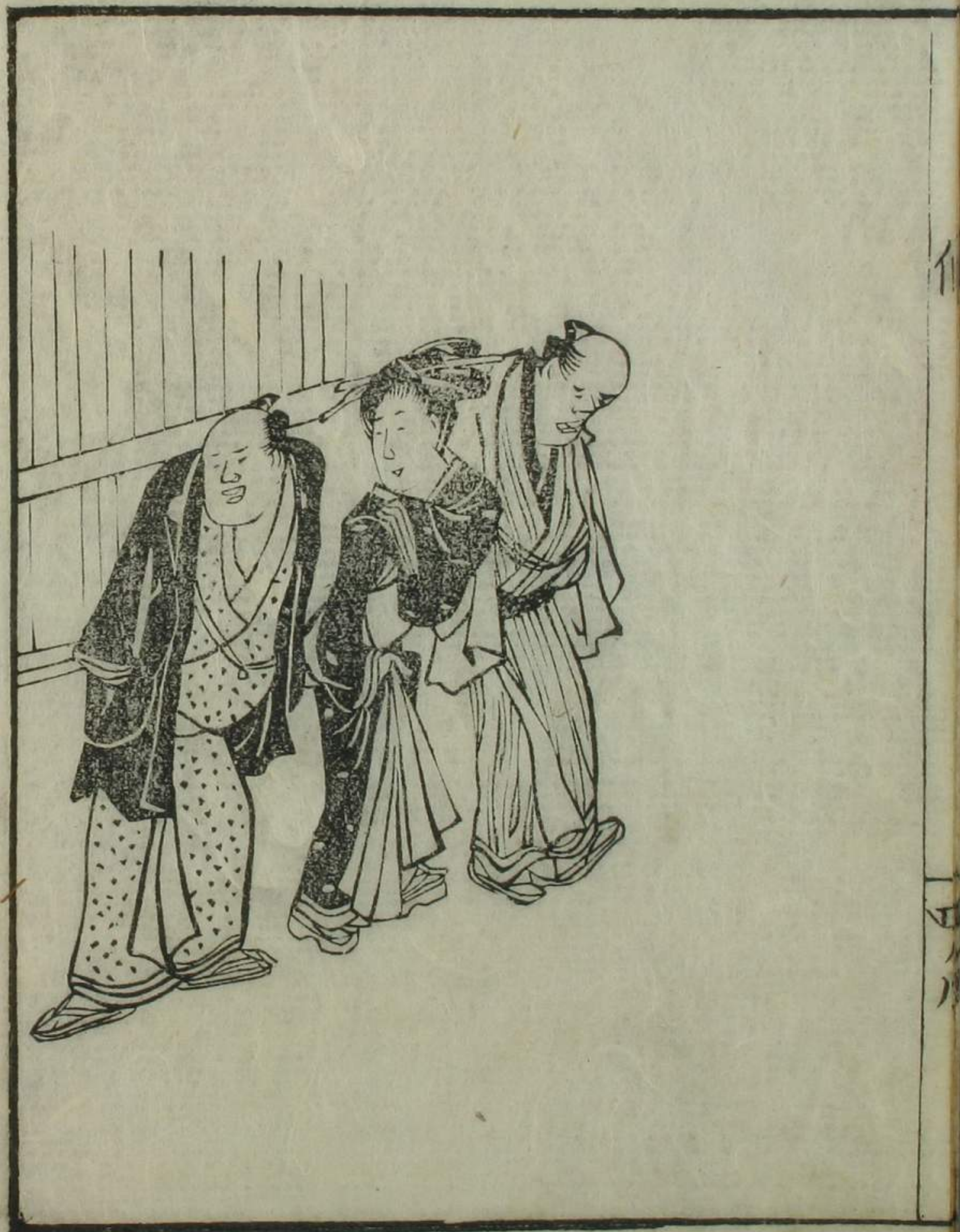


次



D
2

仙



仙

新製彼と邪言は煙

下口を今へおき初肉、くろく印のまじり
初おしるふおのほあそくあはくは
とまひちたて一海ふれたか

新製彼と邪言は煙

